様式第１号（第１０条関係）

２０２４年度業務実績報告書

提出日　令和７年１月１７日

１．職名・氏名　教授・法木　左近

２．学位　医学博士（甲）、専門分野　病理学、授与機関　福井医科大学、授与年 1990 年

３．教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 **医学概論**（2 単位）　1 年
②内容・ねらい 内容：社会福祉士として必要な人体の構造と機能および疾病について、医学の学問体系に沿って解説した。具体的には、骨学、筋肉学、組織学、解剖学、そして病理学として炎症、循環障害、腫瘍などを分かりやすく説明した。 ねらい：社会福祉士国家試験に回答できるようになること、クライアントの病気について医学書やネットで調べたときに記載内容が理解できること、そして、社会人の医学リテラシーとしての医学知識を得ること、である。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 百聞は一見に如かずのとおり、視覚教材を多く取り入れた。身近な話題や映画・文学などと関連づけて説明した。また、集中力の途切れるころには、私の海外留学や海外出張（イタリアなど）の画像などを挟むことによって興味を持続させた。
①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 **病気・人間・社会**（2 単位）　1 年
②内容・ねらい 内容：新カリキュラムによる「生涯発達学」の読み替え科目である。また、道信先生とオムニバス形式の講義であり、前半 5 回を道信先生が担当し、後半 10 回を私が担当した。私の担当分では、先天異常と染色体異常・遺伝病、小児の発達、生活習慣病（糖尿病・悪性腫瘍）、脳卒中、認知症、神経変性疾患、老年医学、障害（生活機能分類）などの医学的な疾患知識とそれに関する社会との関係について、分かりやすく説明し、受講者にも考えてもらうような問を設けた。 ねらい：社会福祉士国家試験に回答できるようになること、クライアントの病気について医学書やネットで調べたときに記載内容が理解できること、そして、社会人の医学リテラシーとしての医学知識を得ること、である。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 百聞は一見に如かずのとおり、視覚教材を多く取り入れた。身近なニュースや映画・文学などと関連づけて説明した。また、デジタル授業のひとつとして、疾患の病理組織標本のバーチャルスライドを用いた実習を行い、疾患の理解を深めた。また、冬季では、積雪などの影響を考えて、ハイブリッド形式あるいは遠隔講義で対応した。
①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 **入門演習**（1 単位）　1 年
②内容・ねらい 内容：卒業論文を執筆するための文献の検索法や論文・レポート作成法、プレゼンテーションの技術などを説明し、各自が課題を設定しそれに対して、調べたことや考察を発表してもらい、また、論文レポートにまとめて提出してもらった。また、皆の前での発表の練習として、ビブリオバトルを開催し、各自の研究テーマについてもパワーポイントを用いて発表し、意見を述べ合った。 ねらい：今後の論文・レポート作成の基礎として、文献を検索できるようになり、それをも

とにある程度まとまった文章を作成すること、および人前で発表することを目的とした。また、多くの人と意見を出し合うことも経験してもらう。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫
　文献検索や論文レポートの書き方など基礎的な内容は講義形成で説明するが、それ以降は各自が実際にできるように時間に余裕も持たせた。冬季では、積雪などの影響を考えて、ハイブリッド形式あるいは遠隔講義で対応した。

①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
　病態生理学（2 単位）　2 年（看護学科）

②内容・ねらい
　内容：先天異常、遺伝疾患、染色体異常、多因子遺伝、壊死、変性、萎縮、蛋白質代謝障害（ネフローゼ症候群、尿毒症）、糖尿病、黄疸、循環障害および充血、うっ血、虚血、血栓、塞栓、梗塞、DIC などの用語の理解、炎症論、免疫とは、感染症、腫瘍総論など
　ねらい：看護師国家試験に回答できるようになること、病院内での患者に関する情報交換の内容が理解できるよう医学用語を正しく理解すること、患者の病気について医学書やネットで調べたときに記載内容が理解できること、そして、社会人の医学リテラシーとしての医学知識を得ること、である。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫
　百聞は一見に如かずのとおり、視覚教材を多く取り入れた。2020 年度はコロナのため顕微鏡実習ができなかったが、例年、1，2 回の顕微鏡実習を取り入れ、炎症細胞や腫瘍細胞を観察する。講義では、集中力の途切れるころには、私の海外留学や海外出張（イタリアなど）の画像などを挟むことによって興味を持続させた。また、冬季では、積雪などの影響を考えて、ハイブリッド形式あるいは遠隔講義で対応した。

①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
卒業研究（4 単位）　4 年（社会福祉学科）

②内容・ねらい
　内容：教員の研究分野に関わらず学生の興味ある分野について可能な限り指導した。特に、研究テーマ、学問的な問い、先行文献の検索、研究の方法論、論文の執筆について指導した。具体的には、2 名の学生の卒業研究論文「更生保護活動の意義~担い手の変化とこれからについて~」「チャイルド・デス・レビューにおけるソーシャルワーカーの役割」を指導した。
ねらい：今後の社会にでても、論文・レポート・報告書などの作成の基礎として、文献検索・評価・構成などができ、それをもとにまとまった文章を作成すること、および人前で発表することを目的とした。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫
4 年生であり、就職活動も並行して行っているので、時間的な束縛は極力無くし、学生の主体にまかせ、困った点などの解決方法について指導・支援を行った。また、論文の構成や文章の校正については細かく指導した。

①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
　保健・福祉研究方法論（2 単位）　大学院修士課程 1 年

②内容・ねらい
　内容： 研究の意義となりたち、研究における概念、変数について、実験的研究と非実験的研究、量的研究と質的研究、文献の検索とクリティーク、統計的な方法などを教授する。
　ねらい：　研究をしていくうえでの基本的な用語や概念などの習得と、自身の研究へ活かせるようになること。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫
　受講生の人数も少ないので、気楽に質問ができるように質問タイムを多く設けた。学生の研究目的になるべくあった内容を心掛けた。受講生は社会人が多いので、遠隔授業で行った。
　博士課程の授業と共同で、ゲストスピーカーに福井大学特命教授の樋口先生を招いて「研究に必要な知的財産の基礎知識」を開催した。

①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
　共生社会論（2 単位）　４年（社会福祉学科）

②内容・ねらい
　内容：社会福祉学科 4 年生の必修科目であり、2 月 2 日に実施される社会福祉士国家試験にも対応できるないようで、共生社会と医学について講義した。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫
　過去の社会福祉士国家試験の医学概論の問題が解けるように過去の問題を分析した。また、記憶しやすいように覚え方についても工夫した。

(2)その他の教育活動

内容
１．本学客員教授の海堂尊氏の特別講義を開催した。これは学内公開として教職員も参加した。（2024 年 12 月 5 日

４．研究業績

(1)研究業績の公表

①著書・監修

1. 塩谷, 高橋. (ed) "実践死亡時画像診断 (Ai): 教科書では学べない Ai の進め方." （分担執筆）(2024.8) 東京. メディカル・サイエンス・インターナショナル社

【1 本】

②学術論文（査読あり）

1. 法木左近, and 石田久哉. "美容用角質削り器を用いた踵部白癬の検体採取-妥当性研究." 日本フットケア・足病医学会誌 5.3 (2024): 175-180.
2. 石田久哉, 髙橋直生, 法木左近. "30 症例によるホスラブコナゾール L-リシンエタノール付加物（ネイリン® カプセル）内服中の腎機能の検討." *日本臨床皮膚科医会雑誌* 41.3 (2024): 451-458.
3. Shogo Shimbashi, Motoo Yoshimiya, Akiko Tashiro, Sakon Noriki, Hideki Hyodoh. "“Shock kidney-like Appearance”: Objective evaluation of renal color changes in hemorrhagic shock deaths." *Legal Medicine* 71 (2024): 102521.
4. Akiko Tashiro, Shogo Shimbashi, Motoo Yoshimiya, Sakon Noriki, Hideki Hyodoh. "Massive bleeding from an infected pseudoaneurysm in an arteriovenous graft that resulted in death: A case report." *Legal Medicine* 70 (2024): 102480.
5. Kazuyuki Kinoshita, Toyohiko Sakai, Kunihiro Inai, Sakon Noriki, Hironobu Naiki, Yasushi Hirano, Shoji Kido, Hirohiko Kimura, Tetsuya Tsujikawa. "Postmortem temporal chest CT and its pathological correlation in piglets." *The Journal of Medical Investigation* 71.3.4 (2024): 232-236.
6. 亀井俊治, 法木左近,布施春樹. "医学集談会 臨床病理検討会（Clinical Pathological Conference）肺塞栓症から腸管壊死に至り死亡した一例." *共済医報* 73.1 (2024): 60-67.
7. Ishida, Hisaya, and Sakon Noriki. "A study of 25 cases tested with the dermatophyte test strip after oral foslavuconazole treatment for tinea unguium." *The Journal of Dermatology* (2024).
8. 宋美紗、木村勇人、萩原章、土井章久、法木左近. “剖検脳 MRI を活用した病理解剖の 2 例” 伊丹病院誌. 39.1.(2023):1-5.

【8 本】

③その他論文（査読なし）

特になし

【0 本】

④学会発表等

1. 横隔膜変性壊死を呈した敗血症性ショックの一剖検例　横隔膜病理学のすすめ
第 74 回日本病理学会秋期特別総会（東京都）(2024.10)
法木 左, 村元 暁文, 米元 菜採, 小林 基弘, 今村 好章
日本病理学会会誌(0300-9181)113 巻 2 号 Page109

2. ハイパースペクトル画像による子宮頸部扁平上皮内病変の鑑別のための新しい診断補助法(A new diagnostic aid for differentiating cervical squamous intraepithelial lesions using hyperspectral imaging)(会議録/英語)
稲井 邦博, 松川 遥佳, 湯川 系子, 細川 誓, 法木 左近, 今村 好章, 内木 宏延

日本癌学会総会記事(0546-0476)83 回 Page P-3222(2024.09)

3. ホルマリン固定肺を MRI 撮影した急性間質性肺炎の一剖検例 第 22 回オートプシーイメ-ジング(Ai)学会学術大会（宇都宮市）(2024.08) 宋美紗、木村勇人、萩原章、法木左近

【3 件】

⑤その他の公表実績

１．日本経済新聞 31 面「私見卓見」「受動喫煙、労災認定の可能性も」2024 年 5 月 30 日

【１本】

(2)科研費等の競争的資金獲得実績

【学外】

１．科学研究費　基盤研究（A）「新興感染症から医療者安全を確保する遠隔ロボット解剖解析法構築に医工連携で挑む」分担研究者（令和 7 年度から令和 9 年度）

【学内】

２．戦略的課題研究推進支援「白癬菌抗原キットの動物白癬の診断への応用」（令和 7 年度）

３．看護福祉学部 研究費〔KF 枠研究費〕「横隔膜病理学：新たな視点からの病態解」（令和 7 年度）

(3)特許等取得

(4)学会活動等

１．Ai（オートプシーイメージング）学会　理事

２．日本病理学会　学術評議員

５．地域・社会貢献活動

６．大学運営への参画

(1)補職
(2)委員会・チーム活動
１．動物実験委員会　委員（令和２年４月から） ２．衛生委員会　委員（令和２年４月から） ３．保健管理センター運営会議　委員（令和２年４月から） ４．入試　救護医（令和６年１月 14 日、２月 25 日、11 月 23 日）
(3)学内行事への参加
１．県内高校（福井南高校）への入試説明会（令和６年８月 22 日）
(4)その他、自発的活動など